

## 第4章 計画の基本的な方向性

### 1 計画の基本的視点

幸区の魅力であり資源である梅林を御幸公園に復活させるとともに、市民の地域に対する愛着を深め、憩いの場を創造し市民とともに地域コミュニティの活性化を図るため、3つの基本的視点によって検討を進めました。

#### (1) 歴史の「継承」

川崎市の地形は多摩川に沿って形成されています。人の営みも多摩川の恵みによる長い歴史の中で成り立っており、御幸公園周辺も多摩川と深い関わりがあります。地域を知ることは、先人の労苦を知り積み重ねてきた歴史を知ることから始まります。

地域の歴史や梅香事業の取組を後世に伝えていくことが必要であるとともに、地域への愛着を高めていくことが大切です。

#### (2) 梅林の「復活」

小向の梅林は、現在はかつての面影を見ることができませんが、区の資源であり財産であることに変わりありません。地域の特色を活かしたシンボルとして、市民との協働による梅林の復活が求められます。

また、御幸公園梅香事業による梅林「復活」の取組を一過性のものにしないためにも、植樹や維持管理などにおいて、市民と連携し、協働で進めていく必要があります。

#### (3) 世代を超えた「市民協働」

梅林の復活に向けた植樹はもちろんのこと、様々な用途・世代の人々が、集い・楽しむ環境の整備も必要です。

また、御幸公園を核とした市民との協働・連携による様々な取組やイベントの実施に向けた環境整備が必要です。

## 2 計画の基本目標

御幸公園梅香事業の実現に向けて3つの基本的視点を踏まえ、計画に7つの基本目標を位置付けます。

- |             |              |
|-------------|--------------|
| <b>基本目標</b> | (1) 魅力の発信    |
|             | (2) 歴史・文化の伝承 |
|             | (3) 梅林の復活    |
|             | (4) 梅林の活用    |
|             | (5) 梅林の保全    |
|             | (6) 次世代への継承  |
|             | (7) 公園の利用促進  |

### (1) 魅力の発信

観梅の名所として有名であった小向梅林は、明治後期にはほぼ姿を消し、既に100年以上経過しています。川崎市で梅林と聞かれても、小向梅林の名称を思い浮かべる方は、ほんの少数になっています。

「幸区」の名称の由来となった梅林を地域の財産として、市民の愛着が深まるよう、地域の魅力発信に努めます。

### (2) 歴史・文化の伝承

小向の梅は江戸時代初期に栽培がはじまり、明治時代には観梅の名所として有名になった歴史があります。

歴史を学ぶことは、これからの未来に向けて新しい意味や価値を再発見することです。地域の歴史を知り、地域への愛着や誇りを育むことができるよう、歴史や地名の由来についての講座・講演会を開催するなど、学ぶ機会を創設します。

### (3) 梅林の復活

御幸公園の梅林が観梅の名所となるよう、また地域のシンボルになるよう梅の植樹を進めます。植樹に関しては、配置や品種を工夫し、市民とともに楽しめる梅林とし

ます。梅林の復活にあたっては、事業の連携や各種団体からの助成を用いるとともに、市民からの寄附・募金など様々な手法を導入します。

#### (4) 梅林の活用

市民とともに植樹し育ててきた梅は、観梅としての存在だけではなく、梅の実やそれに携わってきた地域の人達も大きな財産です。

御幸公園を中心に市民が集い、交流を深めるため、御幸公園の梅林、梅の果実などを活用した様々な取組や梅まつりなどのイベントを市民と協働で推進し、世代間交流や地域コミュニティの活性化に努めます。

#### (5) 梅林の保全

現在、幸区の公園緑地は、町内会や自治会等を中心とした29の公園緑地愛護会と79の管理運営協議会による日常的な維持管理活動によって支えられています。

御幸公園の梅林の維持管理については、市民との協働による研究や維持管理活動を行うことが重要であり、市民による管理運営の手法を検討します。

#### (6) 次世代への継承

御幸公園の梅林を後世に伝えていくためには、子どもたちの記憶に残る取組が必要です。学校教育等と連携して、御幸公園を活用した取組やイベントを実施し、総合学習等で梅林の歴史などを学び記憶に残すことで、次世代に受け継いでいけるよう取組を進めます。

#### (7) 公園の利用促進

御幸公園を地域コミュニティの活動場所として利用していくためには、幅広い年齢層の様々な用途に対応した公園機能が求められます。観梅や梅まつりなどのイベントのほか、公園機能としての広場や散策路の整備、健康関連施設の充実を図ります。

また、御幸公園は、国道1号と多摩沿線道路の交差点に位置することから、災害時の帰宅困難者対策など、広域防災拠点として活用を図ります。